

平成26年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成27年 3月31日

研究・研修課題名	「認定血液検査技師」試験の受験
研究・研修組織名（所属）	検査部
研究・研修責任者名（所属）	足立 絵里加
共同研究・研修者名（所属）	

目的及び方法、成果の内容

1. 目 的

認定血液検査技師資格を取得し、より質の高い検査結果を提供する。

血液学的検査は血球数計測、凝固線溶検査、末梢血や骨髄の形態学的観察、フローサイトメトリー、遺伝子染色体検査など多岐にわたり、広汎な知識とともに専門的な検査技術力、高い鏡検能力などが求められる。認定血液検査技師資格取得により付加価値の高いデータを臨床診療に提供することができるとともに、今後の血液学的検査の発展に貢献できる。

2. 方 法

2014年11月15日に京都府立医科大学にて開催される指定講習会に参加し、翌16日に第13回認定血液検査技師試験を受験する。

- 指定研修会（2014年11月15日 京都府立医科大学）
 - 12時30分 受付
 - 12時40分 オリエンテーション
 - 12時50分 開校式
 - 13時00分 講義①：遺伝子関連検査について
 - 13時45分 講義②：止血検査について
 - 14時45分 講義③：リンパ節関連検査について
 - 15時30分 講義④：フローサイトメトリー関連検査について
 - 16時20分 実技模擬試験
 - 17時15分 閉講式、指定研修会受講証明書配布
 - 17時30分 閉講

- 認定試験（2014年11月16日 京都府立医科大学）
 - 9時00分 受付
 - 9時30分 筆記試験説明・試験開始
 - 11時00分 筆記試験終了
 - 11時10分 実技（午前の部）開始
 - 12時10分 実技（午前の部）終了
 - 13時00分 実技試験（午後の部）開始
 - 16時00分 終了

③成 果

認定血液検査技師は日本検査血液学会において、血液検査分野における高度な知識と技術を有する臨床検査技師の育成をはかり、より良い医療を国民に提供することを目的として導入された。

血液検査歴3年以上経ち、認定血液検査技師申請の資格審査基準に必要な50単位を取得したため11月15日に京都府立医科大学で行われた指定研修会に参加し、翌16日に第13回認定血液検査技師試験を受験した。

指定研修会は遺伝子関連検査やフローサイトメトリーなどWHO分類で重要視されている内容や、血栓・止血検査についての講義であった。

試験は血液検査の基礎知識から血球、止血機構、凝固線溶系、遺伝子検査、フローサイトメトリーなど細かく全試験範囲から出題されていた。実技試験は実際の検査や血液細胞の映像を見ながら設問に答える方式であり、初めての出題形式で戸惑った。

今回の試験結果は不合格であった。しかし受験を通じ検査の意義や重要性、血液疾患の病態など改めて多くの知識を得ることができた。今回の受験で改めて知識不足を痛感した。次回の試験では合格できるよう今後自己研鑽に努めたい。